

平成 31 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立 鶴見小学校 学校協議会

1 総括についての評価

本年度も「子どもが安心して成長できる安全な学校の実現」は、目標を達成したことを示すB評価であった。「心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上」においては、目標を上回るA評価であった。来年度も気を許さず、取り組んでほしいと意見があった。また「全国体力・運動能力・運動習慣調査」は、男子ではすべての種目において全国平均よりも上回っていて、女子も上体起こしを含め5種目で全国平均よりも上回っていた。ただ女子は課題であった長座体前屈において大阪市、全国平均に届かず柔軟性に問題が見られ、次年度に克服していきたい。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現 B評価

道徳授業、生活指導研修会、児童理解研修会などで子どもの実態の情報交換を定期的に取り組んでいる結果、いじめの解消は100%であったというは評価できる。学校全体で子どもを見ている感じがする。

全市共通目標値よりも学校の年度目標値の方が高い場合は、よりレベルアップをするためにも、全市共通目標から離れて新たな目標を学校レベルに合わせて作成してもいいのではないかという意見もあった。

年度目標：心豊かに力強く息抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上 A評価

学力経年調査における標準化得点を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させるにおいては全学年が上回った。また、正答率7割に満たない児童の割合を減少させるや市平均を2割以上上回る児童の割合等はしっかり成果が出ている。「全国体力・運動能力・運動習慣調査」は、しっかり成果が出ている。ただ「体が柔らかくなっているように感じますか」のアンケートの数値が唯一悪かったのは感覚でアンケートを取っているので、例えば何cm伸びたら柔らかくなっているよというような判断基準を示してあげると、数値も上がったのではないかという意見があり、来年度の課題としたい。

3 今後の学校園の運営についての意見

学校はしっかり努力をしていて、成果も出ていて評価できる。取り組み内容においては、「1日1回～をする」といったものもあったが、1日のいつするのかなど、より具体的に取り組み内容が設定すればもっとよくなっていくのではないかという意見があった。

「全国体力・運動能力・運動習慣調査」も「大阪市学力経年調査」のように時期を考えれば、担任が努力した成果が見られるのではないかという意見があった。

子どもたちも多様性を受け入れられる雰囲気を作れるよう、縦割り班活動や学級での生活の中で違いを認め合う態度をはぐくんでいく事を大切にし、今後もいじめのない学校づくりをしてほしいと意見が出された。

参考資料も付けられていたので、具体的にイメージできたので内容もよくわかってよかったです。来年も続けてほしい。